海田中学校通信

第１３号　自律・尊重・挑戦　海田町立海田中学校　〒736-0026 広島県安芸郡海田町幸町 10-1

令和６年３月５日　発行　TEL(082)822－2258　HP https://www.hrs-kaita-j.ed.jp

1年間を振り返り、さらなる取組を進めます！ ―令和5年度学校評価(最終) ―

令和５年度　学校自己評価表　海田町立海田中学校

学校教育目標　「考え、実践する」 ～ 自律・尊重・挑戦 ～

中期経営目標		評価項目	評価指標	評価基準 A 目標達成	B ほぼ達成	C もう少し	D できていない	自己評価（最終） 最終値	評価	結果と課題の分析
確かな学力の定着と向上	主体的・協働的で、考えを深め表現するための授業改善	◎主体的に学ぼうとする学習意欲の向上（自律・挑戦）	◇学校生活アンケート（生徒）で、「授業では、自分の考えを積極的に伝えています」と肯定的に回答する生徒の割合（選択する力・表現する力）	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満	68.6%	C	生徒が安心して自分の考えを発信できることが大切である。しかし教員主導での指導の割合が少なくない。また、正答を中心に指導が進む授業もあり、生徒誰もが安心して発言しない状況を生んでしまう可能性がある。以上のことから次の点が今後の課題として考えられる。①生徒が自分の考えを発信する目的を教員が意識的に仕組む　②生徒の発言の正誤に問わず、適切にフィードバックする　③発信した生徒誰もが自らの発言が学級の中で生かされていると感じられる場面を設定する。
			◇学校生活アンケート（教員）で、「『一人一人を尊重した授業をするための留意点』を授業の中で意識しています」と肯定的に回答する教員の割合（選択する力・表現する力）	90%以上	80%以上	50%以上	50%未満	100.0%	A	目標値を上回り全教職員が、一人一人を大切にする授業づくりを意識できているという結果になった。こまめな呼びかけや、公開研究会を通して、全教職員が無意識に一人一人を大切にする授業を実践できるようになったからだと分析できる。しかし、生徒指導の視点や、道徳教育の視点など『一人一人を尊重した授業をするための留意点』には多くの視点が組み込まれているため、来年度は視点を焦点化して、どのように生徒一人一人を大切にしていくか、具体化していく必要がある。
		◎「読む文化」を生み出す学校づくり（自律）	◇各学期における図書室の本の、一人当たりの貸出冊数の割合（認識する力・選択する力）	5冊以上	3･4冊	2･1冊	0冊	全5、4 ①7.5 ②7.2 ③1.7	A	朝のSHR時の図書室利用、アンケートを実施した上での漫画の購入と漫画を読むスペースの充実、新刊図書の購入、委員会や国語科とで協力して行ったビブリオバトルやPOPの作成、今年度からの放課後図書室の開放など、読書への啓蒙活動を年間を通して実施し、1･2年生では目標値を上回ることができた。ただし、12月の図書月間におけるイベントは周知不足のためか参加人数は例年より少なく、実施方法や内容など検討する必要がある。（最終値は1･2学期のもの）3学期に読書マラソンがずれ込んだため3年生の読書冊数が伸びなかった。来年度は必ず3年生が参加しやすい時期に行う。
		◎確かな学力の定着（自律）	◇全国学力調査及び標準学力検査で全国平均を超えることのできた学年・教科の割合	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	（標準学力） 教科1/2学年 国 -1.7 +3.2 数 -2.5 +1.3 理 -3.9 +2.2	B	2学年は、全教科で全国平均を上回った。各授業で、生徒が定期的に復習問題に取り組む時間を設けており、各教科の基礎的な知識が定着していると分析できる。一方で、1学年は、全教科で全国平均を下回った。どの教科も、正答率が全国平均より大幅に低い領域がある。授業者がその領域を重点的に底上げすることを授業内で意識し、帯学習の取り組みなど授業改善を行い、全体の学力向上に取り組んでいきたい。
人間性豊かな生徒の育成	生き生きと自律的に活動し、自他を大切にする生徒の育成	◎自己実現力・自己効力感の向上（尊重）	◇道徳意識調査で、「自分にはよいところがあります」と肯定的に回答する生徒の割合（認識する力）	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全85.5 ①84.6 ②82.5 ③89.6	A	肯定的回答が昨年度から2学年は約6ポイント、3学年は約15ポイント上昇した。全体でも約6ポイント上昇し、85.5%と多くの生徒は自己肯定感をもつことができている。道徳授業や様々な行事に加え、日々の生活の中で生徒を認め、励まし、伸ばすような指導を教職員全体で年間を通して継続できたからであると考える。来年度は継続して自己肯定感を高めるような対応に加え、取組についても全体で共有しながら進めていきたい。
		◎海田町を愛する生徒の育成（尊重）	◇学校生活アンケートで、「海田町に今後も住み続けたいと思う」と肯定的に回答する生徒の割合（選択する力）	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全81.6 ①87.0 ②74.5 ③84.0	A	肯定的回答が全体が昨年度から1ポイント上昇し、81.6%と目標値を超えている。学年ごとに見ると、1学年は87%と高く、3学年は昨年度より約1ポイント上昇したが2学年は7ポイント減少した。総合的な学習の時間や道徳授業において体験や実物に触れるなど実感を伴うような工夫の成果であると考える。来年度は実感を伴う学びの機会を増やしていければと考えている。
健やかな体の育成	基本的生活習慣の定着と体力・運動能力の向上	◎規則正しい生活習慣（自律）	◇保健のアンケートで、適切で十分な睡眠時間（7～8時間程度）をとっていると判断される生徒の割合（選択する力）	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	全77.1 ①85.2 ②75.5 ③72.3	B	全体で見ると3.6ポイント上昇している。学年で見ると1学年1.4ポイント、2学年では6ポイント、3学年では7ポイントそれぞれ上昇している。コロナ禍による生活環境の変化が背景にあるが、1学年では外部講師による睡眠学習、今年に入って2学年では保健の授業で生活習慣についての学びを深め、3学年は保健だより等を通して睡眠に関する学びの影響もあり、一人ひとりの生活習慣に対する意識が高まっているように感じる。引き続き、日々の学校生活の中で、個別に声かけを継続して行い、未来に繋げられるよう規則正しい生活リズムに繋げていきたいと考えている。
		◎体力の向上（挑戦）	◇体力テストで、全国平均・県平均を上回る項目の割合	80%以上	70%以上	50%以上	50%未満	全体 37.5% 男子 62.5% 女子 12.5%	D	･男子では、握力、上体起こし、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びを除く3種目において県平均値かつ全国平均値よりも低い。女子では、上体起こしを除く7種目において県平均値かつ全国平均値よりも低い。体を動かす場面が減ったことが原因の一つだと考える。以上の結果を受けて体育の授業では、①体力テストの結果を振り返り、来年度に向けて目標を設定する。（体育理論）②新たに単元に応じた補強運動を行う。また、授業の最初において、柔軟性を高める運動や体操を意識的に取り組む。（例：マット運動→柔軟性を高める運動、バレーボール→ボール投げ運動等）③体つくり運動の充実を図る。（様々な運動を取り入れた活動の実施）④授業の最初に行う補強運動の回数を増やし、体力向上を図る。（腹筋、背筋、腕立て伏せ15回等）
信頼され支持される学校づくり	保護者や地域からの信頼	◎保護者・地域の学校満足度の向上	◇学校生活アンケートで、「海田中学校の教育活動に概ね満足している」と肯定的に回答する保護者の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	94.5%	A	最終結果においても高い評価であった。学期毎に参観日、懇談会を設置したことや、体育祭。文化祭等で子供の活躍を直接見ていただいたり、学級通信や学校通信を通して、学校の様子を発信したりすることで、こどもの成長を感じていただけたことが良かったと考える。一方で、「学校でしていることがわからない」という意見もあることから、どのように情報提供していくか検討していく必要があると考えている。
	教職員のやりがいと働き方改革	◎教職員のやりがい（自律・尊重・挑戦）	◇学校生活アンケート（教員）で、「私はこの学校に満足している」と肯定的に回答する教員の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	86.7%	B	日々の業務に大きな変化はないが、職員朝会や校務運営会等の機会を利用するなどして、情報共有したり、見通しがもてるように工夫したりしたことで、それぞれが自分の立場で何をすべきか考え主体的に動くことができている。課題が次への原動力になるよう次につなげる取組を考えていく。
		◎働き方改革の推進（自律）	◇学校生活アンケート（教員）で、「退校時刻1時間以内の日を毎月2回以上各自が設定し、守ることができた」と肯定的に回答する教員の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	76.7%	C	退校目標時間を守ろうと意識できるようになってきた。水曜日に定時退校日を掲げている。各自計画的に意識して定時退校するのは、難しいようであったが少しずつ定着してきている。「退校時間1時間以内」つまり17：35までに退校するために、教員の意識を高め、保護者の協力をお願いしていきたい。

2年生　命を守る「救命救急法」

２月２日(金)日本赤十字社広島県支部　脇谷　紘一先生を講師に迎え、2年生が「救命法等講習会」を受講しました。

これまでの経験をもとに話される言葉の重みをしっかり受け止め真剣に臨む2年生。その判断、行動で命にかかわる救命救急。真剣に学び取り組む姿が3年生卒業後、最高学年として学校を引っ張っていくのだと語っているようで、頼もしかったです。

何かあった時は「考え、実践する」今日の学びを生かしていきましょう。

「とにかく、動くこと」講師の話を真剣に聞き、熱心に取り組む姿勢がありました。２年生が頼もしく思える２時間となりました。

場を清める　～清掃ボランティア活動道楽隊(１年生)～

２月 22 日(金)1年生が学年末試験終了後、清掃ボランティアを行いました。参加は自由。あくまでも個人の意志での参加ですが、美化委員長を中心に正門付近をきれいにしてくれました。

海田中　活躍の軌跡！～表彰披露～

広島県中学校体育連盟表彰　体育賞（個人）

３年　竹岡　一青

第 55 回安芸郡・江田島市中学校新人ロードレース大会

男子　総合の部　第３位

１年の部　第４位　土井　遥斗　第９位　今村　涼太郎

２年の部　第５位　立花　力輝　第８位　唐内　陽太

女子

１年の部　第７位　新宅　莉央　第８位　小請　海璃

第 42 回海田町織田幹雄記念駅伝大会

中学校男子部　優勝　　海田中学校 陸上部

第３位　海田中学校野球部Ａ

１区 区間賞　立花　力輝　４区 区間賞　今村　涼太郎

第 31 回海田町内小中学校読書感想文コンクール

中学校１年の部　入選　新宅　莉央

中学校２年の部　入選　穏土　弥侑

中学校３年の部　入選　横平　幸芽

トピックス

書道家　小川妙子先生

3年　特別授業

2年生調理実習

シューマイ春キャベツ添え

3月行事予定

1	金	予行練習　３年給食終了
2	土	卒業式準備（３年３時間２年５時間１年４時間）
3	日	卒業式
4	月	振替休日
5	火	生徒委員会打ち合わせ，公立追検査
6	水	生徒委員会　　学校保健委員会
7	木	生徒朝会
8	金	公立高校合格発表
9	土	
10	日	
11	月	読解タイム
12	火	PTA 運営委員会
13	水	２年生４時間授業（給食有）
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	４時間授業（給食有）二次選抜
19	火	
20	水	春分の日
21	木	
22	金	みらい創生二次選抜
23	土	
24	日	
25	月	修了式　離退任式（給食なし）
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	振替休日
30	土	
31	日	

【4月の主な行事】

8日　就任式･始業式･入学式準備　　9日　入学式(2年3年午後登校)10日　給食開始　　18 日　3 年全国学力･学習状況調査 22 日　身体測定　24 日　内科検診 25 日　生徒朝会　尿検査 26 日　参観日･学級懇談会･部活懇談

※予定が変更になる場合があります。その際は緊急メール等でお知らせします。